

■別紙一覧

付属資料 1	一括発注対象範囲ゾーニング図
付属資料 2	一括発注対象施設位置図
付属資料 3	王子公園内施設一覧
付属資料 4	現況平面図
付属資料 5	インフラ整備状況
付属資料 6	現況施設一覧及び施設図面
付属資料 7	敷地の測量調査結果
付属資料 8	敷地の地質調査結果
付属資料 9	成果物一覧
付属資料 10	什器・備品リスト
付属資料 11	諸室リスト
付属資料 12	園内樹木等リスト
付属資料 13	園内モニュメント等リスト
付属資料 14	王子動物園の配置／動線イメージ
付属資料 15	動線計画図
付属資料 16	スタジアム南側東西園路の取り合い
付属資料 17	立体駐車場アクセス園路整備フェーズ
付属資料 18	アスベスト調査結果
付属資料 19	公園橋の PCB 塗装資料
付属資料 20	既設受変電設備
参考資料 1	施設別検討図
参考資料 2	天城橋・中原橋河川断面
参考資料 3	既存スタジアム騒音調査測定結果
参考資料 4	阪急沿線交通量調査結果
参考資料 5	Naturalistic Landscaping ガイドライン
参考資料 6	神戸市案内サイン共通仕様書
参考資料 7	神戸らしいまちなかサインガイドライン
参考資料 8	雨水幹線現況排水区域図
参考資料 9	弓道場配置・動線計画図
参考資料 10	王子動物園サバンナゾーン・爬虫類館基本設計図面
参考資料 11	王子公園駅周辺整備検討図
参考資料 12	大学ゾーン施設計画図等
参考資料 13	大学ゾーンアクセス動線
参考資料 14	王子動物園内電気平面図

敷地の現況	付属資料7「敷地の測量調査結果」を参照
敷地の地質状況	付属資料8「敷地の地質調査結果」を参照

なお、インフラ設備の整備については以下のとおりである。なお、下記事項は参考であり、各インフラの整備状況等については、事業者の責任において確認の上計画し、敷地外整備は管理者と協議の上、早急に調整を行うこと。

項目	整備役割
上水道	<ul style="list-style-type: none"> ・付属資料5「インフラ整備状況」を参考に計画すること。 ・なお、シンボルプロムナード上のφ900の管は大容量送水管であるため使用不可である。園内及び道路上にある配管図は付属資料5のとおりであるが、本管を割る場合は水道局と協議を行うこと。
汚水	<ul style="list-style-type: none"> ・現況流域と同様に設定し、本事業の範囲内において必要な能力を満たす排水設備を計画すること。東側のアクセス園路上の管については、活用可能であるが、管径が不明であるため調査の上計画すること。 ・なお、防災機能に記載を行うが、マンホールトイレを適切な場所に設置し汚水管接続させること。
雨水	<ul style="list-style-type: none"> ・参考資料8「雨水幹線現況排水区域図」を参考に、現況流域と同様に設定し、本事業の範囲内において必要な能力を満たす排水設備を計画すること。 ・なお、防災機能に記載を行うが、雨水貯留槽を適切な場所に設置し給排水計画を立案すること。
ガス	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス管は、シンボルプロムナード並び市道野崎線上のφ200の管が主要な管であるため、ガスを使用する施設を設置する場合は適宜配管計画を立案すること。
電気	<ul style="list-style-type: none"> ・市道野崎線もしくは市道長田楠日尾線より引き込みを計画すること。 ・プロムナードに設置されている関西電力柱は撤去を行う予定の為、使用を計画しないこと。 ・付属資料5「インフラ整備状況」を参考に、必要施設において計画すること。
通信	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者で確認し、整備すること。

② 動物園エントランス

項目	要求水準
(A) 共通事項	<p>ア) 既存ゲートの南東に新たなメインゲートを整備し、メインゲートより動物園内側（有料ゾーン）をエントランス広場（建築面積を含め3,700㎡程度を想定）として整備すること。</p> <p>イ) メインゲートは、物販店や園内トイレを併設すること。レイアウトは来園者動線を考慮すること。</p> <p>ウ) 動物科学資料館南側に、出口専用及び再入場用の北ゲートを整備すること。</p> <p>エ) 上記、想定する位置及び範囲等は付属資料14「王子動物園の配置/動線イメージ」を参照するものとし、詳細は契約後に本市・動物園と協議の上、決定することとする。</p> <p>オ) メインゲートは、可能な限り、緑の広場と同時期のオープンに努めること。</p>
(B) メインゲート	<p>ア) メインゲートは2m×3レーン、及び幅員3mの予備通路を確保し、全天候対応型とすること。なお、チケット読取りシステムは別事業による発注とし、各レーンに読取装置設置を想定すること。詳細は契約後に本市・動物園と協議の上、決定するものとする。</p> <p>イ) メインゲート園外部は、隣接する緑の広場に1,000人程度が滞留できる空間を確保すること。なお、ゲート付近に滞留する人数を考慮し、大屋根を設置する等、暑さ対策を講じること。また、入場前に各種情報を得られるよう、多様な掲示板等の情報発信機能を設けること。</p> <p>ウ) ゲート付近（園内側）には、来園者がイベント情報や観覧マナー等の情報を得られる空間を創出すること。また、その空間には、各種情報を発信する掲示板や、モニター（1か所、50インチ以上）を設置すること。詳細は、本市・動物園と協議すること。</p> <p>エ) メインゲートには、以下の各種機能を配置すること。なお、設置機器等については、既存設備等を参考に計画すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内所：券売窓口及び案内ブースと兼用（2窓口）し、ゲートに併設すること。 ・券売機：本市で3基調達するため、設置場所を確保すること ・園内案内ブース：1ブース設置すること。 ・園内案内ブース付近にベビーカーや大型スーツケース等の荷物預かり置き場を設置すること。 ・救護室／迷子保護対応室：カーテン等の仕切りにより、2空間構成可能なものとする。 ・1Fに物販店及びトイレ、2Fに会議室、スタッフ控室を設置すること。 <p> トイレ：男女、子ども用、バリアフリートイレを設置するものとする。便器数は現状以上とし、その他、授乳室、ベビーベッドを設置すること。</p> <p> 会議室：可動式仕切りにより2空間に仕切りが可能なものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倉庫を確保すること。 ・コインロッカー：既存（大型12コ、小型40コ）を流用可とする。

項目	要求水準
	<p>・ゲートの通信用に光回線（1回線）の引き込みができるよう、空配管・MDF盤を設けること。</p> <p>オ) メインゲート北側には、別事業として動物園内外から出入りが可能な飲食施設を整備予定である。敷地範囲及び工事期間中の取り合いについては、契約後に本市・動物園と協議の上、定めるものとする。その敷地として300㎡程度を確保した計画とし、動線や施設の使い方を想定し提案すること。</p> <p>カ) メインゲートには、市道長田楠日尾線から侵入できる幅員5m以上の管理車両用ゲートを設けること。</p> <p>キ) 電源は動物園内にある第1キュービクル（遊園地南側）より送ること。</p> <p>ク) 王子動物園の名板については、新調するものとし、来園者の期待感を高めるデザインとする。詳細については、契約後、本市と協議の上決定するものとする。</p>
(C) エントランス広場	<p>ア) メインゲートより動物園敷地側にエントランス広場（建築面積を含め3,700㎡程度を想定）を整備すること。</p> <p>イ) 集合・記念写真が撮影可能な空間（屋外/50人程度）として写真スポットを確保すること。</p> <p>ウ) テーブルやベンチ等の休憩施設について、避暑対策を講じた上で、適宜配置すること。異常高温対策として、主要な動線にはミスト等を配置すること。</p> <p>エ) 植栽の配置に合わせて適宜、（自動）灌水設備を整備すること。</p> <p>オ) 夜間照明を設置すること。公園内の園地と設えを合わせること。</p>
(D) 北ゲート	<p>ア) 動物科学資料館南側に出口専用及び再入場用の北ゲートを設置すること。一部シンボルプロムナードの西側植栽帯区域も活用することを可とする。</p> <p>イ) 北ゲートに設置するシステムは、メインゲートの券読取り機等のシステムと連動させるものとする。ただし、システム等の設置については別事業で行う。メインゲート・北ゲート間の通信線用の空配管は本事業にて設置すること。</p> <p>ウ) ゲートは、幅員2m×2レーン及び3mの予備通路を確保し、建築物とすること。なお、チケット読取りシステムは別事業による発注とし、幅20cm×奥行120cm×高さ90cm程度の機器設置を想定すること。詳細については本市・動物園と協議の上、決定するものとする。</p> <p>エ) 北ゲート棟の建屋に物販店、案内所を配置すること。案内所付近には、各種情報を発信するモニター（1か所、50インチ以上）を設置すること。詳細は、本市・動物園と協議すること。</p> <p>オ) 電源は動物園内にある第4キュービクル（動物科学資料館内）より送ること。</p> <p>カ) ゲートの通信用に光回線（1回線）の引き込みができるよう、空配管・MDF盤を設けること。</p>
(E) 物販店	<p>ア) メインゲート、北ゲート物販店の内装はスケルトン渡しとする。ただし、空調設備・換気設備・照明設備・給排水設備は準備すること。</p> <p>イ) 飲み物等を販売出来るよう給水・排水設備を設けること。</p>

項目	要求水準
	<p>使用できるようにすること。</p> <p>ス) 調整室から競技エリアへの仮設音響への対応として、アナログマルチコネクタ (24 センド程度)、デジタル (RJ-45) 配線をそれぞれ1回線以上用意すること。また、併せて競技エリアにコンセント回路を4回路以上用意すること。</p> <p>セ) 各室には必要に応じてアッテネーターを計画し、音量を変えられるようにすること。</p>
(P) 電光掲示板	<p>ア) 大会利用を想定し、電光掲示板を設置すること。</p> <p>イ) アメリカンフットボール・サッカー等の試合時間・得点を表示することができるものとする。</p> <p>ウ) アメリカンフットボール・サッカー等のチーム・得点・試合時間等を表示できるものとし、スタジアム客席から文字等が目視で読み取り可能なものとする。</p> <p>エ) 全ての観客が表示を視認できて、文字が読みやすくなるように、適切な位置・画面寸法・表示方法により設置すること。電光掲示板のサイズは縦4.6m×横8.4m程度とすること。</p> <p>オ) 災害時に避難誘導する為に、火災報知設備と連動した避難誘導表示が行えるようにすること。</p> <p>カ) 効率的なメンテナンスや更新性に配慮すること。</p>
(Q) 自動火災報知設備	<p>ア) 火災報知受信機は管理事務所に設置し、感知器は発報場所が特定できる方式とすること。</p>
(R) 警備関連設備	<p>ア) 機械警備設備の設置にあたっては、管理事務所にて一元管理(警備状況の監視及び入切)を行い、管理事務所にて確認できる計画とすること。</p> <p>イ) 外部及び内部(観覧席を含む)の場内各所の状況把握の為に、各出入口、スタジアム外周部、建物の死角となる部分など、効率的に監視カメラを設置し、利用者の安全に配慮して計画すること。また、管理事務所にて一元管理(監視及びカメラのコントロール)を行い、管理事務所及び運営本部室にてモニター等で確認できる計画とすること。これらの画像を録画できる計画とし、データの保存は2週間以上とすること。</p> <p>ウ) 管理事務所に、監視カメラのモニター、インターホンの親機等の総合複合盤を全て設置すること。</p> <p>エ) 非常通報装置を管理事務所に設置すること。</p> <p>オ) セキュリティ計画に基づいて、各利用者のエリアを区分し、セキュリティ機器の配置を想定して配線ルートを整備すること。</p> <p>カ) 入場ゲートは、チケット確認ゲートの設置位置を想定して計画すること。ゲートは4レーンとし、内1レーンは車いすでの通行に対応したものとする。</p>
(S) 昇降機設備	<p>ア) 運搬方法、障がい者等の移動に留意し、必要と考えられる台数を提案すること。</p> <p>イ) 観客席・競技エリアから外部に通行する際に利用する昇降機はストレッチャー対応とすること。</p>
(T) トイレ	<p>ア) トイレは大会や各種イベントの開催時にも円滑に利用できるように、適切な場所・器具数を設置すること。各種衛生設備の選定にあたり、災害時等、停電時の使用を想定し計画すること。</p>

項目	要求水準
	イ) 照明の人感センサーを設置すること。 ウ) 洗面器はカウンター型とすること エ) 大便器は温水洗浄式暖房便座を設置すること。また、停電時には、手動でも排水が可能なものとする。こと。 オ) バリアフリースイレは、多様な利用者（車いす使用者、オストメイト、高齢者、要介助者、乳幼児連れなど）に対応した設備を設ける他、ユニバーサルデザインに配慮し、誰もが使いやすい器具を選定すること。 カ) 器具数について、SHASE-S 206-2019に基づき、適切な便器数を設置すること。
(U) 空調設備	ア) 管理事務所にてすべての空調機の制御を行うことができること
(V) 雨水貯留槽	ア) 災害時、トイレの洗浄水として使用できるよう計画すること。
(W) その他	ア) スタジアムは有事の際にはヘリコプター離着陸場として活用し、物資集積配送や救援活動の拠点として機能するよう、計画すること。 イ) 災害時に臨時ヘリポートとして利用できるよう、62m角の空地を「地方航空局における場外離着陸許可の事務処理基準」（以下、「航空局基準書」という。）に基づき確保し、照明柱等がヘリコプターの進入区域の支障とならないよう考慮すること。 ウ) 兵庫県のヘリコプター臨時着陸場適地に最大対応機種「川崎CH-47J」として指定可能な仕様となるよう、航空局基準書等の条件を遵守すること。 エ) 災害時にスタジアムを支援拠点（物資保管・荷捌きに利用）及び臨時ヘリポート等として利用することを想定し、災害対策用車両の進入経路を確保すること。 ※幅2.5m高さ3.8mの車両が通行できるように計画すること オ) 競技エリア内に物資搬入を想定し10トントラック等の出入口を2箇所設けること。なお、円滑に車両の出入りが可能な場合は1箇所の提案も可とする。 カ) 救急車、消防車等の緊急車両が、競技エリア内に直接アクセス可能な構造とすること。 キ) 自動体外式除細動器（AED）を設置すること。また、標識により設置場所を明示、誘導すること。 ク) スタジアム用及び動物園用として最大各5台の大型バス駐車を想定しており、それに必要な舗装部分を、スタジアム東側の外構に設けること。なお、スタジアムは主に休日利用、動物園は平日利用を想定していることから、駐車台数の兼用は可とする。また、ユーザビリティや安全性等に配慮の上、スタジアム周辺に設けることも可とするが、この場合は多目的広場程度までの距離とし、上記に加えスタジアム東側の外構に大型バス1台が一時停車可能な車寄せスペース及び動線を確保すること。 ケ) 上記のバス1台が一時停車可能な車寄せスペース以外で、スタジアム東側の外構に、管理車両等がスタジアムに隣接して駐車できるよう、段差・障害のない平坦なスペースを確保すること。 コ) スタジアム東側の外構に駐輪場を20台設けるとともに、シーンに

項目	要求水準
	合わせて臨時の駐輪スペースも想定し、舗装部分を設けること。 サ) 市道野崎線の歩道環境（幅員等）の改善をすること。

④ 登山研修所

項目	要求水準
(A) 方針・意匠	<p>ア) 登山研修所は、登山の健全な普及・発展、安全登山の啓を目的とし、登山技術の研究と研修、スポーツクライミングの競技力向上を図るための施設として、今回の再整備で更新することとし、より多くの市民に利用してもらえる施設を目指すこととする。</p> <p>イ) 六甲山の山並みを背景とした公園全体の景観と調和するよう、建物の高さやデザイン等（外装材、壁面緑化や周辺の植樹、セットバック等）に配慮した計画とすること。壁面緑化を提案する場合は維持管理に配慮すること。</p> <p>ウ) 既存登山研修所の解体は新登山研修所への移転後に行うものとする。（移転期間として1ヶ月を見込むこと）</p> <p>エ) 「官庁施設の基本的性能基準及び同技術基準」、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」に基づき、以下の耐震性能を確保すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・構造体安全性：Ⅱ類 ・建築非構造部材耐震安全性能：B類 ・建築設備の耐震：乙類 </p> <p>オ) ZEB Oriented 相当以上とする。 （BEI（再生可能エネルギーによる削減量を含めない）≤ 0.6）</p> <p>カ) 大学への敷地売却に伴うインフラ（給排水、ガス、電気）の振替えは本市で行う。（別途工事）</p>
(B) 仕様等	<p>ア) 人工岩場やスポーツクライミングウォールを併設するなど、既存の登山研修所の機能を確保すること。</p> <p>イ) ユニバーサルデザインに配慮した計画とすること。</p> <p>ウ) 研修所建物の階数は4階を限度とし、延床面積 600 m²以上を確保すること。</p> <p>エ) 設計にあたっては、競技団体の意見を踏まえて決定することとする。</p> <p>オ) 研修所建物に以下の諸室を確保すること。また利用のしやすさを考慮した配置とすること。 玄関ロビー／図書閲覧室（玄関ロビーと共用でも可）／事務室／ボルダールーム／更衣室／集会室：大・中・小／倉庫（事務所及びボルダールーム、集会室（大）の備品収納）／書庫（閉架式書棚を含む）／給湯室</p> <p>カ) ボルダールームには、ボルダー競技用のウォールを設置すること。 （ボルダー競技用のウォール） <ul style="list-style-type: none"> ・ウォールの高さは 4.0m（マット厚さを含む）とし、ウォール上端から天井までのクリアランスを 1.0～1.5m確保すること。 ・ウォール用パネルは木製合板（厚さ 18mm 以上）を使用し、表面は塗装仕様とすること。 ・ウォールの上端はホールドとして使用できる形状とすること。 ・マット（厚さ 30cm 以上）を備え付けること。 ・ホールドは 1 m²あたり 10 個を目安に備え付けること。 ・照明は、クライミングの妨げにならないように配置すること。 </p>

項目		要求水準
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 1階出入口付近に管理事務所を配置し、駐車場管制システムの監視盤等を設置できる空間を確保すること。 イ) 保管倉庫 <ul style="list-style-type: none"> ・ 倉庫を確保すること。なお、通常時は駐車場管理員の更衣室として利用できるようにすること。 ウ) 自動体外式除細動器 (AED) を設置すること。また、標識により設置場所を明示、誘導すること。
(B) 北棟	① 駐車場棟	ア) 階層は4階程度とすること。 イ) 屋上は駐車場利用とすること。 ※国土交通大臣認定駐車場 (一般認定) を想定しているが、在来工法による一般建築の駐車場のことも可とする。
(C) 南棟	① 駐車場棟	ア) 階層は3階程度とすること。 イ) 屋上にテニスコート2面を整備すること。 ウ) 南棟1階は平日の大型バス (20台以上)、土日祝日の一般車両利用とした運用が可能な構造とすること。 エ) 1階に設置する大型バス駐車枠、一般車両駐車枠は日によって切り替えることになるが、利用者に分かりやすい駐車枠表示となるよう、表示灯の設置等、明示や工夫を行うこと。 オ) 屋上はテニス利用など一般利用があるため、1.5m以上の壁や柵など転落防止策を講じること。
	② テニスコート	ア) コートはハードタイプの舗装とし、アクリル系樹脂塗装床程度を想定する (耐久性や耐候性等を考慮したアクリル系樹脂塗装床以外の材質のハードタイプの提案も可とする)。 イ) ベンチが併設された日除けを2か所設置 (2m×3m×高さ2.3m以上) し、適宜休憩できるプレー環境とすること。 ウ) その他以下の整備を行うこと。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高温対策のミスト整備 (ドライ・ミスト噴霧) ・ 防球ネット整備 (高さ10m程度 (最低8m以上)、上部も全て覆うもの) ・ 照明機器整備 (日没後にも利用者が安全に屋上階から退場できるよう計画すること) エ) 屋上に屋外用手洗い場 (蛇口は3か所程度) を設けること。
	③ 電気設備	ア) 負荷系統に適した変圧器構成とすること イ) 変電設備は屋内閉鎖式とし、保守、増設スペース等を確保すること ウ) オイルレス化、省エネルギーを考慮した機器を選定すること